

学校名	さいたま市立大谷場東小学校
所在地	埼玉県さいたま市南区 大谷場 2-13-54
電話	048 - 882 - 4618

1.本校の概要

本校は創立43年目を迎える。平成13年度に小中一体型校舎として落成し、学校図書館や音楽ホール等を共用している。

小中共用の学校図書館は、2名の図書館司書がいる。6教室分のゆとりのある明るいスペースをもち、PC6台、テレビデオ等を含め学習・情報センターとしての機能も高い。



2.本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

「豊かな心を育てる学校図書館」「情報の宝庫となる学校図書館」を目指し、「さいたま市の子は日本で1番本が好き」という大きな目標のもと、読書の習慣化を目指し、読書活動を推進している。

「太陽の子読書まつり」

年3回行われる読書まつりでは、ボランティアや図書委員による読み聞かせ、全教職員によるおすすめの1冊紹介など、児童の読書意欲が高まるような取組みをしている。また、小中学生と一緒に取組めるクイズコーナーやしおりの配布等中学校との連携も図りながら、児童が本を好きになれるよう6年間を見通し支援できるようにしている。

「読書貯金通帳」

3年生以上には「読書貯金通帳」を配布し、年間目標ページを設定し読書の習慣化を図っている。3年生は3000ページ、4年生は4000ページ等目標を学年×1000ページで設定し、読書意欲

を喚起できるようにしている。(中学校では1000ページになっている)年間目標を達成した児童は全校朝会で紹介し、賞状を渡している。児童は具体的な目標ページの設定により、長編の作品にもチャレンジしようとする意欲が高まっている。

「太陽の子チャレンジ100冊」

地域の方々、保護者、教職員へのアンケート結果により、児童に読ませたい100冊を選定し、「太陽の子チャレンジ100冊」カードとして配布した。読んだ本には色をぬるようにし、楽しく取組めるよう工夫している。



友だちの調べた本の中に僕のほしかった情報があった。

学習活動の中での活用

各教科の年間指導計画の中で図書利用を重点的に行う単元を洗い出し活用できるようにしている。近隣の学校図書館相互の交流連携を生かし、その単元で活用できる図書数を多くする等の工夫にも取り組んでいる。

(2) 家庭・地域との連携

学校図書館ボランティアを募集し、本年度は12名の保護者が読み聞かせやパネルシアターの作成などを行っている。年3回行われる学校公開の時に地域のボランティアグループに来ていただき、全校読み聞かせを行った。また、PTA・地区会と連携し、影絵鑑賞会を行い児童や保護者・地域の方々にも本の楽しさを知ってもらえるように努力している。

3.成果と今後の課題

年間貸し出し冊数も年々増加し、読書の習慣が身についた児童も多い。今後も読書意欲の高まりを大切に考え、創意工夫をしながら児童の心に呼びかける活動を多く取り入れたい。ボランティアとの連携を深め、全児童・全教職員が有効に活用できる学校図書館をめざしたい。